

# 羽曳野市学校図書館ニュース 第13号

平成26年7月発行：羽曳野市学校図書館司書会

## 高鷲北小学校が 平成26年度 子ども読書の日記念「子ども読書活動推進フォーラム」で 文部科学大臣表彰を授与されました！



（四月二十三日・東京都渋谷・国立オリンピックピック青少年総合センターにて）

「文部科学大臣表彰」は、子どもの読書、学校図書館の活用、図書館等との連携など、読書を推進する近年の活動が顕著に優秀と認められる学校・図書館・団体及び個人に対し文部科学大臣が行う表彰です。

羽曳野市でこの表彰を受けたのは4校目になり、平成13年度に羽曳が丘小学校、平成22年度に白鳥小学校、平成23年度には恵我之荘小学校が授与されています。



（児童会役員と図書館にて）

### 高鷲北小学校がめざす子どもたちをとりまく読書環境【学校図書館相關図】



#### ここが評価されました！

- ・地域に、陵南の森図書館があり読書環境が充実し、公共図書館との連携が図られている。
- ・図書館教育計画をたてて、学校あげて取り組んでいる。（朝読、児童会活動）
- ・図書館が読書センターだけでなく、学習センターとしての活動を行っている。



↑高鷲北小「お気に入りの1さつ」



↑丹比小「手づくりしおりコーナー」



↑峰塚中「わたし・ぼくのおすすめ本！」

## 春の読書月間

4/23（子ども読書の日）～5/23の読書月間には、各校で、読書に関するいろいろなたりくみを行いました。

↓埴生南小

「今年の読書目標だ！！」



↑古市小「どくしょスタンプラリー」



↑西浦東小「本のたっきゅうびん」

## ※ブックトークにチャレンジしませんか！

※テーマによって、たくさんのお本をことばでつないで紹介していく読書活動のひとつ。（対象：小学校中学年以上～）

4月30日市役所にて、文庫連絡会・市立図書館共催の「はじめてのブックトーク」学習会が実施され、学校司書も一緒に学ばせていただきました。午前中は、講師の中西美季先生より理論を学び、午後は実演の指導。ブックトークは、メリハリをつけて！ポイントを一部紹介します。

- ① テーマから、メインの本を決めて（逆もあり）、時間配分を考える。紹介する本は、自分の信念と愛情をもった本を幅広く、絵本・日本文学・外国文学・科学読み物など、長短つけて紹介する。
- ② 「読んでください」と言わずに、読みたい気持ちにさせる。
- ③ ストーリーテリング・読み聞かせは、最初か最後に入れる。
- ④ 主役は本。挿絵・本文を効果的に使い紹介する。



子ども文庫連絡会・司書との交流会

# 先生のおすすめ本コーナー

テーマ 『学級で読んでよかった本』

## 『たいせつなきみ』

作：マックス・ルケード  
絵：セルジオ・マルティネス  
訳：ホーバード・豊子  
出版：いのちのことば社



人は何のために生まれてきたのか...  
そのままの自分で愛されるため...  
だめじるしも、お星さまもつかないあり  
のままの君...  
子ども同士つながりにも、チームで  
子どもたちに関わる私達にとっても、太  
切にしたい一冊です。(古市小・伊藤先生)

## 『エルマーのぼうけん』

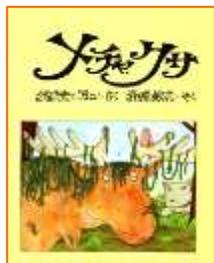
作：ルース・スタイルス・ガネット  
絵：ルース・クリスマン・ガネット  
訳：わたなべ しげお  
出版：福音館書店



毎朝、一章ずつ読みきかせをすると、  
「明日はどうなるの?」ととても楽しみ  
に目をキラキラさせながら聞いてくれま  
す。(古市南小・岩井先生)

## 『メチャクサ』

作：ジョナサン・アレン  
訳：岩城敏之  
出版：アスラン書房



めっちゃくさい「ヘラジカ」とプライ  
ドの高い「オオカミ」のお話。まだまだ  
教室に慣れない空気が流れているなら、  
クラスみんなで太爆笑してみませんか?  
?学期初めにおすすめです...  
(丹比小・今任先生)

## 『このよで いちばん はやいのは』

原作：ロバート・フローマン  
訳：天野祐吉  
絵：あべ弘士  
出版：福音館書店



「このよで いちばん はやい」のは何  
でしょう? 「ウサギとカメ」に始まり、  
陸・海・空の生き物、新幹線・ジェット  
機...と、どんどん速いものが出てきます。  
それは、地球を飛び出し宇宙へ。そして  
何より速いものとは? 最後には意外な答  
えが待っています。私たちが何より大切  
にしたいもの、それが読んだ後に心に残  
るお話です。(高鷲南小・西森先生)

# 司書のおすすめ本コーナー

テーマ 『夏におすすめの本』



『たったさんびきだけのいけ』  
絵と文：宇治勲  
出版：PHP研究所

低学年

小さな池に、カメとさかなとおたまじゃくしの3びきが住んでいました...  
おたまじゃくしは、カメをうらやましく思い、仲間はずれにします...  
ところが、カエルに成長すると、今度はさかなをばかにするようになります...  
やがて、夏の日照りで苦しそうにしているさかなを見て、カエルはなやみました...  
そして、自分のかってさに気付きます...  
さかなを助けたいと一生懸命になるところが、子どもたちの気持ちをひきつける絵本です。

中学年以上

『あつさのせい?』  
作・絵：スズキコージ  
出版：福音館書店



誰かがウっかり忘れた「忘れ物」や「落し物」。ひろった次の誰かは喜んで使って、またウ  
っかり自分のものを忘れてしまう...。しりとりみたいに、グルグル回る忘れ物と落し物。み  
んなあつさのせい?で、ずいぶんウっかりしています。うまの「はいどうさん」がえきのプラ  
ットホームで忘れたぼうしは、最後どうなるのでしょうか。おたのしみに...



『宇宙への秘密の鍵』  
作：ルーシー&スティーヴン・ホーキング  
訳：さくまゆみこ  
出版：岩崎書店

高学年以上

理論物理学者である著者が、若い人たちに宇宙の神秘を伝えたいと思い書かれた物語です。  
美しい写真とわかりやすい科学用語の解説で、彗星や太陽系、宇宙について学ぶことができ、  
宇宙への興味が深まります。主人公ジョージは、隣に住む少女アニーと科学者であるアニーの  
父、会話ができる世界一のスーパーコンピュータ「コスモス」と出会い、宇宙の神秘を体験す  
る物語です...